



第432号 平成26年7月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

教育委員会との懇談会

会 長 林 鐘 声

京都市教育委員会の生田義久教育長と3人の体育健康教育室の方と、6月28日に懇談会を持ちました。

私が初めて参加したのは平成16年でした。その時は内科健診時の服装の話があり、プライバシーに配慮の上、上半身裸ということが私達と学校関係者の間での共通認識となりました。その後、指定学校医制度、心のワンポイント相談、限られた台数しかなかったAEDの学校への配置基準（その後、京都市の全校にAEDが配置）、学校医会100周年記念事業、MRⅢ期の集団接種、新型インフルエンザ流行と学級閉鎖の基準、学校における産業医の方向性など、ここでの懇談内容は私達の活動の足跡と重なるものです。

今回は3点に絞って懇談しました。

第1は学校給食におけるアレルギー用生活管理指導表の運用です。アレルギー用管理指導表については平成21年に一度懇談しており、アナフィラキシーや重篤な喘息など学校生活に大きな影響のあるものに絞った限定的な活用でよいとしてきましたが、これまで、この限定された疾患においても京都市ではあまり活用されてきませんでした。食物アレルギーについての京都市小学校の調査では、管理指導表の提出は極めて少なく、保健調査票の記載からアレルギーがあると知ることが圧倒的に多く、医師の診断に基かずに学校でアレルギー対応していることにつながってきました。今後、学校給食対応に生活管理指導の提出を必須とすることに踏み出すのは意味のある前進です。有料である指導表の提出を求める以上、学校での給食対応は全対応とまでいかなくとも、これまで以上のきめ細やかな対応が求められてきま

す。一方、医師が記載する管理指導表の精度管理は、私達医師側の検討課題です。昨年、京都市では3件のエピペン使用があったようです。打つタイミング、野外活動時の対応など研修を更に深めていくことが望まれます。

第2は健康管理医の職務についてです。過重労働からメンタルの問題を抱えるようになった教職員の職場復帰は極めて困難となり、早期発見・早期治療が大事です。健康管理医は、1月に80時間以上の時間外勤務者に対しては、本人の申し出のある時には面接指導やそれに準ずる対応を求められることになっています。その時には、学校管理者による実態把握と改善の努力があつての面談指導となるべき事を確認しました。

第3は、小学校における水泳指導の手引きが昨年の3月に京都市から出たことに関連した話です。何といっても気にかかったのは、プールの水位を低くしたこと、即ち、各学年毎で全員の肩が出るまでの高さにしたことです。児童・指導者からの不満やプールの水のオーバーフローがなくなることによる水面のゴミ処理や水質の劣化など問題があるのではと危惧しましたが、今の所、何も無いようでした。足が立たない所でも泳げるようにするのが、水泳授業の1つの目標とも考えますが、どうなのでしょう。近々に出る予定のプール事故をうけての第3者委員会からの報告を参考として、改めて水泳授業のあり方についても見直したいとの事でした。

他に、眼科からは視力評価の変更と色覚検査についての報告があり、耳鼻科からは健診後の事後措置の内容の一部を見直すとの意見が出ました。

第65回 指定都市学校保健協議会 課題別協議題

第2分科会に参加して

葛野小学校校医 竹内 宏一

今年には横浜市の主催でパシフィコ横浜の会議センターにて開催された。前日の学校医研修会にも参加したのでその感想を述べます。

学校医研修会では眼科、耳鼻科の研修講演が各1題ずつ行われ、特別講演として、独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長の「学校安全、災害共済給付事業の現状と予防対策」と題しての話であった。学校巡視に従事している小生としては給付事業の現状での巡視校でのトラブルを聞いているので非常に興味を持って望んだ。ところが、柔道、ラグビー等での事故の話のみで、給付事業の現状については全く話されず、演題のタイトルと全く異なる事に期待はずれで愕然としてしまった。期待していた事は、事故、災害にて児童が受けている受診の現状、内容であったからである。というのも学校現場での受診に関して外科、整形外科等の一般診療所への受診に比べ、整体師、鍼灸師、整復師等の受診率の方が多いのではという現状、その比率、その原因が何であるかという実情が知りたかったからである。翌朝の協議会での記念講演は体操オリンピック金メダリスト具志堅幸司氏の「本気になれば、何かが変わるー指導者として選手としてー」と題する講演だった。実に内容の濃くて深い幅広い視野に立っての話で、生徒と深い関わりをもつ教育関係者、養護教員、学校医にとってはとても素晴らしいもので最近に無い感動、感激を与えてくださったと思った。選手への道、選手として、又その後の指導者としての体験からほっとするものを感じた。

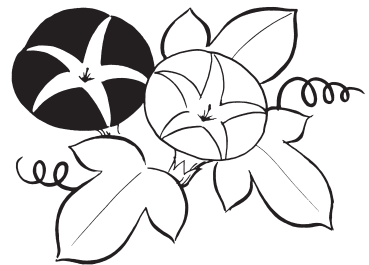
従来、小生に与えられた宿題は第2分科会「保健管理」ー心身ともに健康で安全な生活を送るための適切な保健管理ーへの感想である。

第2分科会の主旨は、多様化深刻化する児童生徒の健康課題に対し、学校保健関係者が実践する、児童生徒への適切な保健管理の進め方について協議す

るものである。協議の視点としては(1)学校事故を未然に防ぎ、不測の事態にも適切に対処する学校組織の在り方(2)子供の健康状態を把握し、きめ細やかな対応を図る保健管理の推進の2点があげられていた。

5題の各都市からの題提言があった。

小児アレルギーでのエピペンの使用、給食体制、支援学校、救急事故でのAEDの使用とそのマニュアル、グローバル化して外国人生徒の受け入れ事項などが協議された。養護教育、学校保健関係者の方々の勉強内容、その取組方に大変御努力されている事を痛感した。ただ、学校医として各演題で共通して感じたことは、学校の教職員の方々の視点と臨床医としての視点との間にはかなりギャップがあるのではと感じた。その一つの例として百数十人の外国人生徒を受け入れている学校でも、各国の予防接種スケジュールの異なった予防接種歴の把握がなされておらず、日本での受けるべきアドバイスがされていない事も学校保健としては問題であろう。今後、学校医と学校保健関係者(養護教員を含み)密接な連携と情報支援が必要で、そのギャップをなくしていく事が今後の課題のように思えた。



第65回 指定都市学校保健協議会 課題別協議題

第3分科会【心の健康】に参加して

西京高等学校校医 杉本英造

協議題：豊かな心を育てるための教育活動や支援のあり方

主旨：心身ともに健康な生活を送るうえで欠かすことのできない、子どもの心のケアについて、効果的なアプローチや組織体制づくりの進め方について協議する

協議の視点：子供の豊かな心を育むための教育活動の推進
心の健康課題を速やかに把握して解決するための支援体制の構築

演題

1. 児童の自尊心を高める取組（札幌市）
2. 自己表現力を高めるための保健教育の実践（堺市）

3. 養護教諭の専門性を生かした心の健康へのアプローチ（熊本市）

4. さいたま市全体で取り組む「いのちの支え合い」を学ぶ授業（さいたま市）

5. 「強い意志」をもつ子供を育てる（広島市）
「自尊感情を高める」ためにどうすればよいか？
「自己表現力を高める」ためにアサーショントレーニング（自分の言いたいことを素直に言って、同時に相手の気持ちも理解する）を取り入れコミュニケーション力を向上させる。WHISH教育を取り入れ、自尊心・自己肯定感を高め、人間関係を大切に。「心の健康」を育むための様々な手法とその効果が紹介され勉強になりました。

第65回 指定都市学校保健協議会 課題別協議題

第4分科会に参加して

東山泉小学校校医 長村吉朗

5月25日横浜市において開催されました第65回指定都市学校保健協議会の第4分科会の概要につき報告をいたします。

第4分科会では、以下の報告が行われました。浜松市立南陽中学校 養護教諭 久保田はる美「命を大事にし、心身ともに健康的な生活ができる生徒を目指して～心を耕す（心身ともに成長する）学校保健週間の取り組み～」。新潟市立内野中学校 養護教諭 吉村アユ子「姿勢を核とした学校づくり」の中での学校保健の推進～基本的生活習慣の定着を目指して～」。相模原市薬剤師会 薬剤師 鷲山毅「薬の適正使用教育」における相模原市薬剤師会の取り組み」。北九州市薬剤師会 薬剤師 小田真稔「本市における学校薬剤師の現状と将来ビジョン」。仙台市立榴岡小学校 養護教諭 渡邊由美子「協働

で進める「体づくり」榴岡小トライアングル「保健・食育・体育」と「学校・家庭・地域」の連携を生かした実践」。の5演題でしたが、先の2題と最後の1題は養護教諭による報告で、年々題名が長くなるとともに、内容もその学校における試みが述べられていますが、それらの羅列で評価もアンケートによると80%が85%に改善した等、十分に練れていない報告が最近は多くなってきている印象です。中2題は薬剤師による発表で、題名と同じく内容も簡潔でまとまっていました。先生方が忙しいのは十分承知していますが、学校における生活発表の延長のような報告は医者にとってはかなり苦痛です。

なお、これらの資料は学校医会事務局に御座いますので必要な先生方は遠慮なくご連絡下さい。

第 3 回 常任理事会

平成26年7月5日
於 事務局

出席者 林会長，竹内・井本副会長，杉本専務理事，
東道・大久保・山内・安野各常任理事，佐
野眼科学校医会副会長，鈴木耳鼻咽喉科専
門医会理事，奥村副議長，長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 第30回京都府歯科保健文化賞 6/8
2. 色覚相談 6/10, 6/17
3. 精神衛生研究会 6/12
4. ツベルクリン反応検査 接種6/16, 判定6/18
於：京都市学校医会会議室
5. 京都市学校保健会理事会・評議員会 6/17
於：新・都ホテル
6. 京都市学校保健会新旧会長歓送迎会 6/17
於：新・都ホテル
7. 食物アレルギー・アナフィラキシー研修会
6/20 14:15～ 於：京都シルクホール
8. 三師会 6/21 18:00～ 於：ラ・ロカンダ
9. 西京支部会 6/22 於：レストランテ キメラ
10. 京都市教育委員会との懇談会 6/28 17:30～
於：要庵 西富家
食物アレルギーの学校対応・健康管理医の職務・
水泳授業の対策について
11. その他 西京支部長交代

<協議事項>

1. 京都市学校保健・学校安全功労者表彰
表彰者選出について
2. 平成26年度 子どもの健康週間行事に係る「子
育て支援シンポジウム」について
3. 平成26年度 京都府予防接種研修会について

4. 京都ワクチンフォーラムについて
(26年10月11日 京都国際ホテル)
5. 全理事会について
6. 京都府指定学校医制度について
7. その他

<関連学会・各種協議>

1. 南支部会 7/5
2. 精神衛生研究会 7/10
3. 校園長会との懇談会 7/12 於：白梅旅館
4. 色覚相談 7/15, 7/22, 7/29
5. 腎臓相談 7/15
6. 第36回 近畿学校保健連絡協議会 7/24
於：京都府医師会館
7. 第14回 京都「こどもの心とからだ」教育講演会
7/26 於：こどもみらい館
8. 平成26年度 京都市小学生水泳記録会 7/31
於：京都アクアリーナ
9. 全理事会 8/2 17:30～ 於：一之船入
10. その他

